鳴り物入りで入幕を決めて一身に注目を集める千代鈴、3連勝で幕内デビューを果たして四日目は同じく全勝の夢力と対戦。立ち会いで夢力の右の押っつけをかわし左から体を寄せると夢力には全く相撲を取らせず一気に寄り切って4連勝すると、翌五日目には1敗に後退した烏帽子岳との一番。

千代鈴○（寄り切り）●夢　力

鋭い出足から胸を合わせ回り込む烏帽子岳を土俵半周攻め立てると、得意の左を差し土俵中央から正面土俵に一気に寄り切り新入幕で堂々の5連勝で早くも勝ち越しにリーチをかけた。周りからは「令和の怪物！」との呼び声も上がり、その怪物がどこまで連勝を重ねていくのか六日目以降もその土俵から目が離せない。

烏帽子●（寄り切り）○千代鈴

入幕以来負け越しが続き幕尻まで番付を落とした綱嵐、後がなくなり初日から3連勝と奮起して迎えた四日目は照の王との3連勝同士の対決。その好調な相手に立ち会いで出足を止めると、抵抗する照の王を前に押し込み寄り切りに降し4連勝。

綱　嵐○（寄り切り）●照の王

綱　嵐○（寄り切り）●伊達富

続く五日目の伊達富士戦でも立ち会いで押し込まれるも、すぐ様反撃に出て四日目同様に前に攻め込んで寄り切って5連勝とし幕内残留にリーチをかけた。迎える六日目は千代鈴との全勝対決が組まれる予想で、友砂親方からも大いに期待がかかることだろう。

その他初日から3連勝を決めていた照の王は1敗に烏帽子岳、夢力は2敗とそれぞれ後退した。

若嶋連敗休場

片や西の横綱若乃嶋は初日、三日目と序盤で早くも星をふたつ落とし厳しい滑り出しで迎えた四日目は支那虎と対戦。立ち会いかで支那虎の出足を受け止め胸を合わせ前に攻め込み左を伺おうとしたところでのど輪を差し込まれ、踵立ちで抵抗して見せたが正面土俵に押し倒され3敗目と大きく後退。

支那虎○（押し倒し）●若乃嶋

背水の陣で迎えた五日目は大神楽との一番。立ち会いから鋭い当たりで胸を合わせ前に攻め込むも、右の押っつけをかわされると左を許し土俵を半周凌いだが抵抗するのが精一杯でカなく寄り切られて4敗目を喫し優勝戦線から脱落。実は場所前に膝にたまった水を簡易手術で抜き今場所に挑んだようだが踏ん張りがきかず、六日目以降の巻き返しに期待されたが打ち出し後にやむなく休場が発表された。

大神楽○（寄り切り）●若乃嶋

中盤戦に入り五日目までを取り終えて、8名だった全勝力士は美空富士、春ノ翔、平幕の四季嶋、千代鈴、綱嵐の5名となり、1敗で佐賀ノ海、照の王が追う展開と変わり中日六日目と七日目に進む今場所。美空富士に春ノ翔の安定感は抜群でこの2人の牙城を崩すのは容易ではなさそうだが、全勝の上位2人に平幕の3人がどこまで追随して行くのか？

琴乃王久々の活躍

五日目を終えて、幕内経験のあるベテラン琴乃王がただ一人5連勝として優勝争いのトップに立った。これを1敗で追随するのが龍不動、春雷の2人と今場所は早い段階でつぶし合いの混戦模様となっている。

琴乃王○（引き落し）●雪若丸

天　我●（上手投げ）○琴乃王

このところ負け越し続きで十両下位まで落ちて来た琴乃王。年齢的にもそろそろ限界かと思われたが、奮起して「まだまだやれるぞ！」というところを見せている。四日目には天我を豪快な上手投げで横転させ、その勝ちっぷりで存在感を誇示した。

佐賀ノ海に照の王も1敗で虎視眈々と先頭を伺う。まだまだこの先の予想が付け難い楽しみな次開催は、3週間後の3月7日に予定された。全国の紙相撲ファンの皆さん更なる土俵上の熱戦に乞うご期待！

（香具山）

佐賀海○（寄り切り）●出羽翼

照の王○（寄り切り）●夢　力

悲願の新入幕を目指す龍不動は初日こそ黒星だったが、二日目から4連勝。白星を重ねて一歩一歩、新入幕に向けて歩みを進めている。「龍っちゃん（たっちゃん）頑張れ！」との四国からの播磨屋親方の声援が届いているのだろう。

龍不動○（寄り切り）●葵　盛

勝間田部屋の春雷は先場所の8勝に続き今場所も力のあるところを見せている。今場所に大勝ちすれば一気に入幕も見えてこようというものだ。勝間田親方も愛弟子の活躍に目を細めている。鞍ノ城と同じ色の廻しを締めての再十両の雪若丸も「とにかく勝ち越して、関取の座を何としても維持したい！」と気合が入っている。

春　雷○（寄り切り）●天　我

若　佑●（上手投げ）○龍不動

筆頭で幕内への返り咲きを狙う鹿富士は3連勝と好スタートを切って期待されたが、四日目からまさかの連敗。鹿賀乃戸親方がボランティア活動でミャンマーへ行かなければならなくなったとかで、親方不在が敗因かもしれない。中日からの巻き返しに期待したい。

鹿富士●（寄り切り）○葵　盛